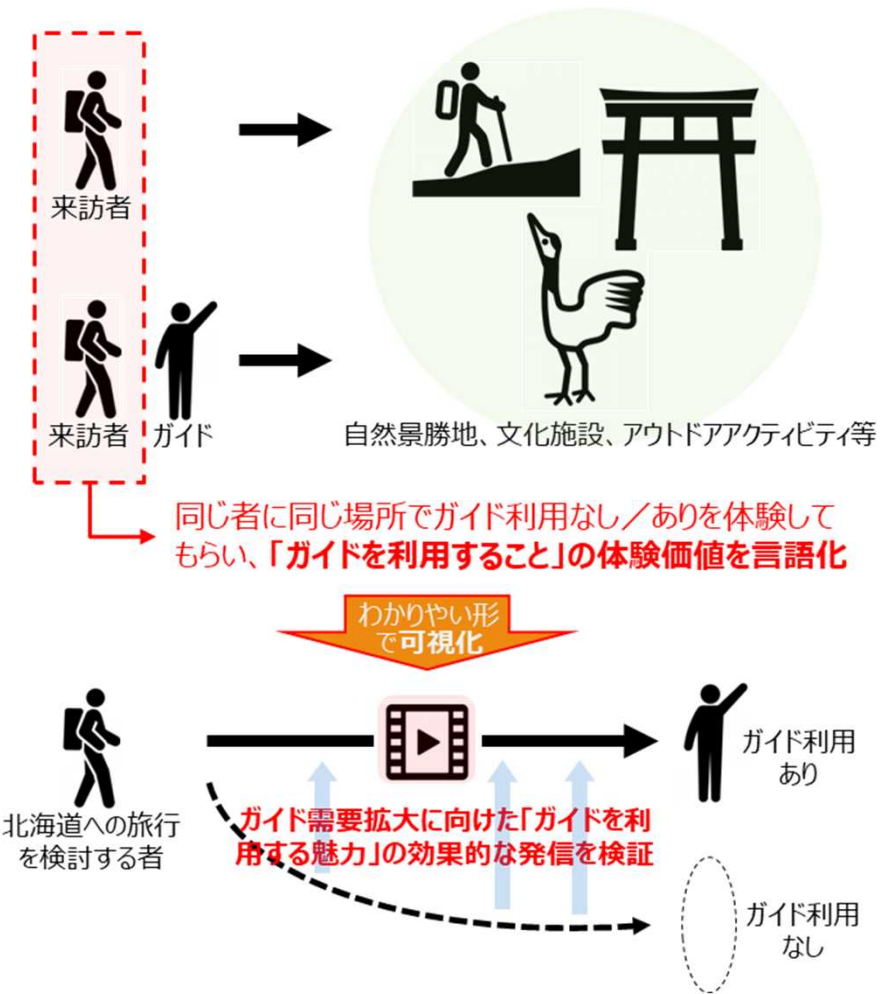


- ガイドを利用した観光・旅行をする人は依然として少ない一方で、ガイドならではの魅力は実際に体験してみなければ伝わりにくいため、ガイド利用の価値が十分に認識されず、利用が広がりにくいという構造的な課題が生じている。  
※ガイドの利用経験がある訪日外国人旅行者は2割弱で、利用経験がない旅行者ほど利用意向が低い（ガイド人材の活性化に係る検討会中間とりまとめ(令和6年6月観光庁)）。
- そこで、ガイド利用の経験がない人にもその魅力をわかりやすく伝え、ガイド利用を旅行スタイルの選択肢として検討してもらう行動変容につなげるため、「ガイドを利用すること」の魅力・体験価値を可視化・言語化した動画を作成した。

## 事業概要



## 作成動画

日本人向け動画(日本語)を1本、インバウンド向け動画(英語)を2本作成。いずれも特定の観光地・ガイドのPRではなく、「ガイドを利用すること」の魅力伝えることに特化して作成。

### ◆日本人向け動画: ネイチャーガイド@奥尻島(Team NACS 森崎博之氏 出演)



▲北海道運輸局  
Youtubeチャンネル  
で公開中

### ◆インバウンド向け動画①: まちあるきガイド@札幌



▲北海道運輸局  
Youtubeチャンネル  
で公開中

### ◆インバウンド向け動画②: ネイチャーガイド@大雪山国立公園



▲北海道運輸局  
Youtubeチャンネル  
で公開中

⇒ 国内及びインバウンドのガイド利用未経験者に対し、これらの動画が「ガイドを利用すること」の体験価値や魅力をどの程度効果的に伝えているかについて調査を行った結果、国内・インバウンドのいずれにおいても、動画視聴前後でガイド利用意向が上昇した。

- あわせて、インフルエンサーを招請し、インフルエンサー自らによる動画作成・発信の形でも事業実施。
  - 北海道運輸局Youtubeチャンネルでの公開と比べ、発信力の面で大きな強みがある一方で、動画構成や内容等を考えながら（あるいは事前に考えた上で）ガイドを受けることとなり、ガイド本来の価値を十分に体感してもらうことが難しかった。
- ⇒ インフルエンサーを起用する場合は、「ガイド体験」と「発信」に専念してもらい、動画作成自体は第三者（動画制作会社等）に依頼する方が、ガイドの魅力を的確に言語化し、より広く発信できるという示唆が得られた。

◆台湾インフルエンサー(Rakuten Girls <sup>ユヒ</sup> 筠熹氏) × ネイチャーガイド @鶴居村



▲筠熹氏Instagramアカウント  
(フォロワー約33万人)での発信



▲Rakuten Girls Facebookアカウント  
(フォロワー約23万人)での発信

◆グルメ系インフルエンサー(もっくん氏) × まちあるきガイド @札幌



▲もっくん氏Instagramアカウント  
(フォロワー約14万人)での発信

- ガイド資格を保有することのインバウンド誘客効果を明らかにするため、アウトドアアクティビティを目的とするインバウンド旅行者にサービスを提供するオペレーター等がガイドを選ぶ際に重視する資格の有無、資格の名称、どの程度重視するのかを調査した。

## ■ 調査概要

Adventure Travel World Summit (ATWS) 2025の会場内において参加者に対して対面でのヒアリング調査を実施したほか、過去にATWSに参加経験のある国内のツアーオペレーターに対しても同様に実施。

調査手法	対面ヒアリング形式
有効回答数	50名(ATWS2025参加者42名・過去ATWS参加者8名)
回答者属性	ツアーオペレーター、観光局・DMO、ガイド、旅行メディア等



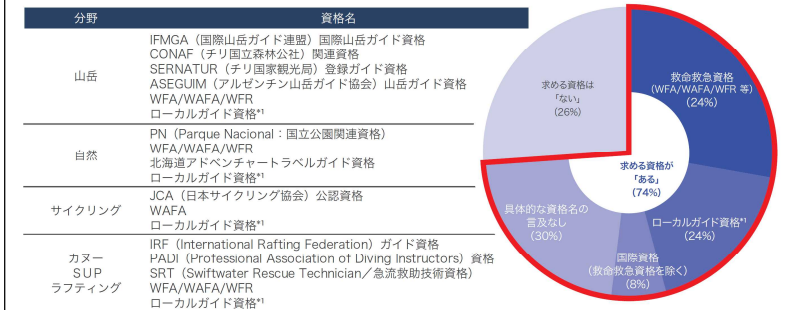
ガイド選定において資格の有無が一定の判断材料となっており、特に安全管理・応急対応に関する資格や、地域の自然環境・制度を理解したローカルガイド資格が重視される傾向を確認。

また、調査結果に基づき、アウトドア分野におけるガイド資格に関する資料(左図)を作成。本資料を用いて、北海道内で活動するガイドに対し、ガイド資格の取得意向等に関する調査を実施したところ、資格取得への関心について「とても高まった」「やや高まった」が合わせて80%と、インバウンド市場における資格評価への理解が深まり、資格取得への関心が高まった結果となった。

## ◆ アウトドア分野におけるガイド資格に関する資料

### WHAT DO OPERATORS REQUIRE WHEN CHOOSING A GUIDE?

ATWS 参加オペレーターに聞く ガイドを手配する際に求める資格は？



\* ローカルガイド資格とは、特定の地域において、国・自治体・地域団体・管理機関等が定める基準に基づき認定されるガイド資格です。

### EVEN IF NOT REQUIRED, WHAT OTHER QUALIFICATIONS ARE PREFERRED?

必須ではないが、ガイドを手配する際に重視する資格やスキルは？

分野	資格名	スキル
山岳	IFMGA国際山岳ガイド資格	フィールド特性を踏まえた判断 地域の山岳環境への理解 旅程管理能力
	Spain TD3 (スペイン国家資格上級)	
	公益社団法人日本山岳ガイド協会の登山ガイド資格	
	バックカントリーAccess社雪崩安全インストラクター ローカルガイド資格*	
自然	国立公園や自然保護区の登録ガイド資格	自然配慮・持続可能性への意識 地域の自然・文化を伝える工夫
	Leave No Trace (自然環境配慮の国際行動原則) ローカルガイド資格*	
サイクリング	公益社団法人日本サイクリング協会の資格	交通環境を踏まえた安全配慮 ルート設計・集団管理
	整備士・メカニックの資格 サイクリング引率・安全管理資格	
カヌー SUP	国際ラフティング連盟 (IRF) ガイド資格	水域リスクの読み取り 状況変化への対応、 言語能力
	PADIダイビング資格 (国際標準)	
ラフティング	SRT (急流・増水河川での救助技術者資格)	
	カヤック安全・操作に関する認定資格 ローカルガイド資格*	

### KEY INSIGHTS

約74%のオペレーター等が「ガイドを手配する際に求める資格がある」と回答した。  
特に安全管理・応急対応は、分野や地域を超えて共通して求められる基礎的な資格である。  
地域の自然環境や制度を理解した「ローカルガイド資格」も、多くの分野で求められている。  
自然分野において重視するスキルとして、自然保護や持続性への配慮が多く挙げられていた。

\*本調査は、過去にATWSへ参加経験のあるアドベンチャートラベル関連の海外オペレーター等50名を対象に実施したヒアリング結果に基づいています。  
うち42名は、「ATWS 2025 (2025年10月13日～16日、チリ開催)」の参加者です。  
\*本資料は、インバウンド市場でガイド資格がどのように評価されるのかを考慮するための参考資料です。  
\*本調査は、「令和7年度ガイドを利用した観光・旅行の需要拡大に向けた実証事業」(国土交通省北海道運輸局)の一環として実施したものです。